

# 医歯学系専攻



# 顎顔面外科学

## Maxillofacial Surgery

教 授	依田 哲也
准教授	丸川 恵理子、佐々木 好幸
講 師	森田 圭一
助 教	儀武 啓幸、中久木 康一、高原 楠旻、友松 伸允
特任助教	倉沢 泰浩、木原 翼、原園 陽介、寺内 正彦、加地 博一
医 員	山本 大介、山田 隆彦、杉山 健太郎、岩崎 拓也、中村 恵理奈、佐久間 朋美、木村 敦、 安西 絵梨
大 学 院	柴田 恵里、益田 洋輝、赤池 優、朱 虹霏、丸田 上、山崎 新太郎、田島 理那
社会人大学院	柴田 真理
大学院研究生	小室 千鶴子、熊谷 順也、香月 祐子、三浦 千佳、和智 宏太郎、津田 晋平、石橋 麗未
非常勤講師	和気 裕之、山城 正司、佐藤 仁、宮地 英雄、小林 明子、佐藤 文明、鈴木 鉄夫、 佐藤 豊、三島木 節、黒原 一人、愛甲 勝哉、大山 巖雄、道川 千絵子、 長岡 亮介、山田 峻之、外内 えり奈、兵頭 克弥

### (1) 研究活動

当分野では多岐にわたる顎顔面口腔領域の疾患に対し、以下のテーマを中心に研究を行っている。

1) 顎変形症：手術精度の向上と術後の顎骨の安定性を目的とした研究を行っている。特に上顎骨後方挙上について安全確実な術式の改良や、術前後の下顎頭の形態、安定性と後戻りとの関係、関節円板転位との関係についての検討をしている。シミュレーションソフト(Proplan)を用いた3次元的な骨干涉の確認、顎骨の移動様式の検討、CAD/CAM splintを用いた上顎位置決めバイトの作成を行い、手術精度の向上に努めている。さらには、顎骨や軟組織など術前術後の変化などを3次元的に評価・研究を行っている。骨接合の際に用いる吸収性プレートの力学的強度の研究を企業との産学連携研究として行っている。また、閉塞性睡眠時無呼吸症との関連、自己血貯血の実態調査、外科手術前後の栄養調査、意識調査・口腔衛生に対する評価を行い、実際の臨床に反映させている。三次元超音波振動切削機(ピエゾサージェリー、ソノベット)を導入し、神経血管・骨膜損傷を抑える骨切り等を行っている。また、クリニカルパスにより安全、確実な入院加療、術後入院期間の短縮を実現して患者に優しい医療を目指している。

2) 口唇口蓋裂：口唇口蓋裂患者の初回手術前より口蓋床を用い、術前顎発育誘導による歯列弓形態の経時的な変化について評価を行っている。口唇形成や口唇修正においては、解剖学的サブユニットに最大限配慮した手術を行っている。口蓋形成では、言語機能や顎発育の両面を考慮したよりよい術式を選択し、成長期における咬合状態と言語機能について評価を行っている。上顎劣成長、下顎前突に対しては、上下顎移動術のみならず上顎延長を適応する場合もあり、術後の後戻りや長期術後安定性について検討を行っている。これら顔面の形態評価については、これまでの2次元解析に加えてCTを利用した3次元解析を行っている。また、口唇口蓋裂を伴う症候群を中心として遺伝子解析を行い、病態解明や疾患概念の再構成、予防法の確立等を目指した研究を行っている。

3) 顎関節疾患：重度の開口障害を呈する咀嚼筋腱・腱膜過形成症の治療と、発症原因、重症化に関する臨床研究、基礎研究を進めている。また、顎関節に発生する滑膜軟骨腫症についての外科治療を行うとともに発症原因や病態解明についての検索を行っている。さらに、開発と実用化を実現した新しい型式の開口訓練器と開口度測定器について、臨床経験をもとに改良を行うとともにさらなる研究開発を進めている。

4) 口腔再建(顎骨再建、骨移植、インプラント、歯の移植)：重度歯周病、顎骨における腫瘍、嚢胞、外傷(骨折や歯の脱落)、先天異常などにより歯を失い、顎骨が失われる場合がある。失われた顎骨を機能的、審美的に回復させるために、自家骨や人工骨を用いてより低侵襲な顎骨再生を目指している。使用する人工骨においては新規材料を用いた臨床研究を行い、最適で安全な使用方法の確立を検討している。また、顎骨が再生された後にはデンタルインプラントや顎義歯を用いて咬合機能を回復させ、それによる影響についての検討も行なっている。さらに咬合機能の回復においては、適応であれば歯の移植も積極的に行い、生着率に与える予後因子の検討を行い、より確実な移植方法の開発や術式の標準化を目指している。

5) 口腔粘膜疾患：白板症、扁平苔癬などの口腔粘膜疾患に対する治療のために専門外来を設置している。また粘膜疾患の病態に対する原因の調査を、全身疾患、局所、心因性のものにわたって行い、治療には一部東洋医学も導入している。

6) 骨組織再生に関する研究：自家骨に代わる骨補填材料の開発が望まれており、その新規材料の開発のため、自家骨移植や既存の様々な骨補填材料との比較検討を行い臨床応用を目指している。その再生骨のアパタイト、コラーゲン配向性を評価することで、より詳細な骨質評価を行い、骨補填材料の使用法の最適化を検討している。また、歯根膜細胞や脂肪組織由来幹細胞を用いた骨再生にも取り組んでおり、さらに血管新生・骨再生を促進させる成長因子のDDSを付与した足場材料の開発も行なっている。

7) 口腔癌に対する基礎的研究：唾液腺悪性腫瘍の検体を利用した、腫瘍特異的遺伝子異常としての融合遺伝子に関する研究を行っている。また、舌扁平上皮癌における密着結合タンパク質の発現と、その浸潤先端部位における動態についての研究を行っている。

## (2) 教育方針

口腔外科学においては口腔、顎、顔面領域に現れる先天性および後天性疾患について、その病因、病理、症状、診断、処置ならびに予後を理解させ、かつ、各種疾患の予防および治療に応用させるように教育する。口腔外科学で取り扱う範囲は非常に広く歯科と医科との重なり合った領域を扱うため、内科学、外科学ならびに隣接臨床医学とは密接な関係を有している。口腔外科学は一般に、歯およびその周囲組織を中心とした疾患を対象とする歯科口腔外科学と、顎口腔顔面領域にわたる疾患を対象とする顎口腔外科学に区分することができ、顎顔面外科学分野は顎口腔外科学分野と分担して教育する。

1-1 第5学年前期において、次の内容について講義を行う。

顎口腔医療（内容については顎口腔外科学分野と分担して行う）

- 1) 顎口腔顔面領域の奇形，特に唇顎口蓋裂
- 2) 顎口腔顔面領域の変形症
- 3) 顎口腔顔面領域の損傷
- 4) 顎口腔顔面領域の炎症・感染症
- 5) 顎口腔顔面領域の嚢胞
- 6) 口腔粘膜疾患
- 7) 顎口腔顔面領域の良性，悪性腫瘍
- 8) 顎関節疾患
- 9) 唾液腺疾患
- 10) 系統的骨疾患
- 11) その他

以上の疾患の成因、症状、診断、処置および予後について講義を行う。

1-2 第5学年前期に次の内容について実習を行う。

- 1) 臨床検査とその評価
  - (1) 一般簡易検査（血液型、赤血球数、白血球数、血色素量、血球容積、血球沈降速度、血液像、尿検査）
  - (2) 血液検査手技（静脈採血、動脈採血）
  - (3) 血清生化学検査、尿生化学検査（付、薬剤アレルギー検査、皮内反応）
  - (4) 顎部の診察
- 2) 滅菌および消毒法  
手指の消毒，手術野の消毒，器械・器具の消毒など
- 3) 抜歯の基本手技  
抜歯鉗子・挺子の使い方
- 4) 切開と縫合の基本手技  
手術訓練用皮膚オプスキンをを用いた切開と縫合など

1-3 第6学年臨床実習

外来実習では抜歯およびその他外来小手術の基本手技、投薬など、病棟実習では入院患者に対する手術を理解し、術前・術後管理の基本などを修得する。

1-4 歯学部第6学年の特別講義を行っている。

1-5 医学部医学科第3学年および歯学部歯学科第3学年の顎顔面臨床ブロックの講義を担当している。

1-6 医学部医学科第4学年、口腔外科の講義、医学部医学科第5学年、口腔外科実習を担当している。

1-7 医学部保健衛生看護学科の講義を担当している。

1-8 医歯学総合研究科医歯科学専攻修士課程の講義を担当している。

**(3) 臨床上的特色**

臨床上的特色:近年の口腔外科疾患に対する治療法の進歩により最新かつ専門化した集学的治療体系が必要とされてきている。これに対応して当科では顎変形症、口腔悪性腫瘍、唇顎口蓋裂、顎関節、口腔粘膜疾患に対して専門外来を設け個々の患者へのきめ細かい対応ができる態勢を整えている。同時に集学的治療の実践のため、顎変形症や唇顎口蓋裂では症例検討会を矯正歯科外来と合同で行っており、口腔外科医と矯正歯科医が十分な検討を行った上で治療計画を立てている。また、悪性腫瘍に限らず病態が複雑な疾患や稀少な疾患を対象に口腔病理科、歯科放射線科と合同で臨床病理カンファレンス(CPC)を行い、症例について総合的に検討することにより、診断、治療に関わる知識を深め臨床に役立てている。

**(4) 研究業績****[原著]**

1. Nguyen CTK, Sawangarun W, Mandasari M, Morita KI, Harada H, Kayamori K, Yamaguchi A, Sakamoto K. AIRE is induced in oral squamous cell carcinoma and promotes cancer gene expression. *PloS one*. 2020; 15(2); e0222689
2. Kaneko A, Marukawa E, Harada H. Hydroxyapatite Nanoparticles as Injectable Bone Substitute Material in a Vertical Bone Augmentation Model IN VIVO. 2020; 34(3); 1053-1061
3. Mikami R, Mizutani K, Sasaki Y, Iwata T, Aoki A. Patient-reported outcomes of laser-assisted pain control following non-surgical and surgical periodontal therapy: A systematic review and meta-analysis. *PloS one*. 2020; 15(9); e0238659
4. Shibata E, Morita K, Kayamori K, Maruiwa M, Michi Y, Sato Y, Takeuchi K, Ikeda T, Harada H, Yoda T. Report Secretory carcinoma around Stensen's duct misdiagnosed as salivary duct cyst INTERNATIONAL JOURNAL OF CLINICAL AND EXPERIMENTAL PATHOLOGY. 2020; 13(8); 2211-2217
5. 田中美佐子, 富岡寛文, 高原楠旻, 畠山一郎, 坂本啓, 原田浩之. オトガイ部に発生した結節性筋膜炎の1例 日本口腔外科学会雑誌. 2020; 66(6); 292-297
6. 尾口仁志, 和気裕之, 玉置勝司, 福永幹彦, 大塚良子, 原田康弘. 学生に対する「医療人としての教育」はどうあるべきかー心身医学教育の必要性と教育現場で抱える問題点. 日本歯科医学教育学会誌. 2020; 36; 130-135
7. Yamada, T, Takechi M (Co-first), Yokoyama N, Hiraoka Y, Ishikubo H, Usami T, Furutera T, Taga Y, Hirate Y, Kanai-Azuma M, Yoda T, Ogawa-Goto K, Iseki S. Heterozygous mutation of the splicing factor Sf3b4 affects development of the axial skeleton and forebrain in mouse. *Developmental Dynamics*. 2020.01;
8. Dulguun B, Akiko K, Kumagai J, Yamaguchi S, Yoda T. Clinical observation of patients with inferior alveolar nerve sensory disturbance JOURNAL OF ORAL SCIENCE. 2020.01; 62(1); 112-118
9. Kim Yusoon, Hayashi Mikihiro, Ono Takehito, Yoda Tetsuya, Takayanagi Hiroshi, Nakashima Tomoki. Suppression of hematopoietic cell kinase ameliorates the bone destruction associated with inflammation(和訳中) *Modern Rheumatology*. 2020.01; 30(1); 85-92
10. Fukushima Y, Kitamura T, Ikami E, Yumoto M, Sano Y, Sato T, Yoda T. A case of burning mouth syndrome leading to suicide 10 days after self-cutting of tongue *Psychogeriatrics*. 2020.01; 20(1); 126-128
11. 寺内 正彦, 田村 篤志, 山口 聡, 依田 哲也, 由井 伸彦. 硫酸化ポリロタキサンによる BMP-2 活性亢進と骨再生への試み バイオマテリアル-生体材料-. 2020.01; 38(1); 24-25
12. Yamamoto D, Kayamori K, Sakamoto K, Tsuchiya M, Ikeda T, Harada H, Yoda T, Watabe T, Hara-Yokoyama M. Intracellular claudin-1 at the invasive front of tongue squamous cell carcinoma is associated with lymph node metastasis. *Cancer Sci*. 2020.02; 111(2); 700-712
13. Yagihara K, Ishii J, Shibata M, Anzai E, Yagishita H, Ishikawa A. A case of carcinoma ex pleomorphic adenoma occurred in the sublingual gland *Oral science international*. 2020.02; 17(3); 174-178
14. 中久木康一. 災害歯科保健支援演習 Disaster Dental Hygiene Unei Game (DHUG) III の開発と活用 日本歯科衛生学会雑誌. 2020.02; 14(2); 34-40

15. Yoshinori Arisaka, Hiroki Masuda, Tetsuya Yoda, Nobuhiko Yui. Simple treatment of cell culture surfaces with water-dimethyl sulfoxide mixtures impacts YAP localization in vascular endothelial cells *Materials Letters*. 2020.03; 263; 127245
16. Yokokawa M, Morita KI, Oikawa Y, Kayamori K, Sakamoto K, Ikeda T, Harada H. Co-expression of EGFR and MET has a synergistic effect on the prognosis of patients with oral squamous cell carcinoma *J Oral Pathol Med*. 2020.03; 49(3); 235-242
17. Yahara H, Horita S, Yanamoto S, Kitagawa Y, Asaka T, Yoda T, Morita K, Michi Y, Takechi M, Shimasue H, Maruoka Y, Kondo E, Kusukawa J, Tsujiguchi H, Sato T, Kannon T, Nakamura H, Tajima A, Hosomichi K, Yahara K. A Targeted Genetic Association Study of the Rare Type of Osteomyelitis. *J Dent Res*.. 2020.03; 99(3); 271-276
18. Kurasawa Y, Maruoka Y, Sekiya H, Negishi A, Mukohyama H, Shigematsu , Sugizaki J, Karakida K, Ohashi M, Ueno M, Michiwaki Y. Pneumonia prevention effects of perioperative oral management in approximately 25,000 patients following cancer surgery. *Clin Exp Dent Res*. 2020.04; 6(2); 165-173
19. Masuda H, Arisaka Y, Sekiya-Aoyama R, Yoda T, Yui N. Biological Effects of Polyrotaxane Surfaces on Cellular Responses of Fibroblast, Preosteoblast and Preadipocyte Cell Lines. *Polymers (Basel)*. 2020.04; 12(4);
20. Hirai H, Ohsako T, Kugimoto T, Tomioka H, Michi Y, Kayamori K, Yoda T, Miura M, Yoshimura R, Harada H. Comparison of 50- and 66-Gy total irradiation doses for postoperative cervical treatment of patients with oral squamous cell carcinoma. *Oral oncology*. 2020.04; 107; 104708
21. 木村 敦, 平井 秀明, 下野 宏晃, 坂本 啓, 原田 浩之, 依田 哲也. 下顎骨関節突起に転移した甲状腺癌の1例 *日本口腔外科学会雑誌*. 2020.04; 66(4); 200-205
22. 丸川 恵理子, 立川 敬子, 望月 裕美, 高橋 幸伸, 原田 浩之, 春日井 昇平. 巨大な下顎骨エナメル上皮腫摘出後にインプラント治療を行った1例 11年経過症例 *Japanese Journal of Maxillo Facial Implants*. 2020.04; 19(1); 13-18
23. Kitamura T, Tomoda,T Ikami E, Hayash N,Horishima Y, Yokota K, Mimura T, Fukushima Y, Yoda T, Sato T,. A case of giant cell arteritis with jaw claudication and trismus treated with early steroid therapy *Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology*. 2020.05; 32(1); 222-225
24. Takahara N, Kimura A, Tomomatsu N, Nakakuki K, Yoda T. Does the amount of mandibular setback during bimaxillary surgery correlate with the degree of surgical relapse? *Oral surgery, oral medicine, oral pathology and oral radiology*. 2020.05; 129(5); 447-452
25. 水谷幸嗣, 三上理沙子, 佐々木好幸, 高谷典秀, 太田秀二郎, 松浦孝典, 城戸大輔, 武田浩平, 向山雄人, 須田智也, 和泉雄一, 岩田隆紀. 人間ドック受診者に対する歯周病スクリーニング方法の検討 単一施設横断研究 *日本歯科保存学雑誌*. 2020.06; 63(3); 245-253
26. 中久木康一. 大規模災害時の歯科的コーディネート(総説)~地域住民への支援~, 特集 災害時における支援活動~子どもへの支援、診療所への支援~ *小児歯科臨床*. 2020.06; 25(6); 6-10
27. Tomoda K , Sato T, Ikami E, Fukushima Y, S Kokabub S, Yoda T. Contact co-culture of osteoblasts and sympathetic neuronal cells enhances osteoblast differentiation *Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology*. 2020.07; 32(4); 307-312
28. Kinoshita N, Sasaki Y, Marukawa E, Hirose R, Sawada SI, Harada H, Akiyoshi K. Crosslinked nanogel-based porous hydrogel as a functional scaffold for tongue muscle regeneration *J Biomater Sci Polym Ed*. 2020.07; 31(10); 1254-1271
29. Eri Shibata, Kei-Ichi Morita, Kou Kayamori, Mayuko Maruiwa, Yasuyuki Michi, Yukiko Sato, Kengo Takeuchi, Tohru Ikeda, Hiroyuki Harada, Tetsuya Yoda. Secretory carcinoma around Stensen's duct misdiagnosed as salivary duct cyst. *Int J Clin Exp Pathol*. 2020.08; 13(8); 2211-2217
30. 和気 創, 儀武 啓幸, 田口 望, 山口 賀大, 高原 楠, 佐藤 文明, 依田 哲也. 小児に発症した両側筋突起過形成症の1例 *日本顎関節学会雑誌*. 2020.08; 32(2); 65-71
31. 和気 創, 儀武 啓幸, 田口 望, 山口 賀大, 高原 楠, 佐藤 文明, 依田 哲也. 小児に発症した両側筋突起過形成症の1例 *日本顎関節学会雑誌*. 2020.08; 32(2); 65-71

32. Ikami E, Sato T, Tomoda T, Fukushima Y, Kokabu S, Yoda T . Soluble factors mediate the interaction between Schwann cells and osteocytes Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology . 2020.09; 32(5); 394-399
33. 青木 和広, 清水 優里, Lu Wei, 廣橋 優奈, 曾根 絵梨, 池淵 祐樹, Masud Khan, Fatma Rashed, 田村 幸彦, 菅森 泰隆, 寺坂 尚紘, 宇田川 信之, 依田 哲也, 本間 雅, 菅 裕明. RANKL-RANK-OPG シグナル研究の最前線 膜型 RANKL を標的にした骨形成促進薬の開発 Journal of Oral Biosciences Supplement. 2020.09; 2020; 98
34. Yoda T, Ogi N, Yoshitake H, Kawakami T, Takagi R, Murakami K, Yuasa H, Kondoh T, Tei K, Kurita K. Clinical guidelines for total temporomandibular joint replacement. Jpn Dent Sci Rev. 2020.11; 56(1); 77-83
35. Sekiya-Aoyama R, Arisaka Y, Hakariya M, Masuda H, Iwata T, Yod T, Yui N. Dual effect of molecular mobility and functional groups of polyrotaxane surfaces on the fate of mesenchymal stem cells Biomaterials Science. 2020.12;
36. Mizutani K, Mikami R, Gohda T, Gotoh H, Aoyama N, Matsuura T, Kido D, Takeda K, Izumi Y, Sasaki Y, Iwata T. Poor oral hygiene and dental caries predict high mortality rate in hemodialysis: a 3-year cohort study. Scientific reports. 2020.12; 10(1); 21872
37. 儀武啓幸. 下顎頭の前滑走運動を誘導する顎関節の運動療法の考え方と手技 日本顎関節学会雑誌. 2020.12; 32(2); 113-120
38. Miki K, Aizawa Y, Fujii S, Karakama J, Fujita K, Sasaki Y, Nemoto S, Sumita K. Combined technique thrombectomy with a long balloon guiding catheter and long sheath aids in rapid and stable recanalization in patients with anterior circulation acute ischemic stroke. Journal of Neuroendovascular Therapy. 2020.12;
39. 原園陽介 辻祐子 山城正司 奈良智之 依田哲也. NST 介入によって栄養状態の改善をはかった歯肉癌の 1 例 日本口腔内科学会雑誌. 2020.12; 26(2); 84-89
40. 槻木 恵一, 瀬川 洋, 中久木 康一, 岡 広子, 足立 了平. どうする災害歯科医学教育！ 命を守るための教科 = 災害歯科医学を進めるために 日本歯科医学教育学会雑誌. 2020.12; 36(3); 125-129

#### [書籍等出版物]

1. 和気裕之, 依田哲也. 「舌が痛い！」という患者さんが歯科医院に来院した時に読む本 ファミリードクターのための完全対応ガイド.. クインテッセンス出版, 2020
2. 依田哲也. 系統看護学講座 歯・口腔. 医学書院, 2020.01 (ISBN : 978-4-260-03871-3)
3. 依田哲也監修. 新編すぐわかるカード式歯科治療に必須の全身リスク診断と対応. 2020.06 (ISBN : 978-4-263-44586-0)
4. 中久木 康一. 新型コロナウイルス感染症に対する歯科の対応. the Quintessence, 2020.07
5. 和気裕之、依田哲也監修. 有病者歯科治療ハンドブック. デンタルダイヤモンド, 2020.08
6. 中久木康一, 藤山美里. 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) に歯科はどう対応すべきなのか, 緊急報告. デンタルハイジーン, 2020.08
7. 和気裕之 依田哲也 監修. 舌が痛いという患者さんが歯科医院に来院した時に読む本. クインテッセンス出版, 2020.09
8. 中久木康一, 藤山美里. 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) への対応から歯科が学ぶべきこと, 続・緊急報告. デンタルハイジーン, 2020.11
9. 中久木康一. 口から守る! あなたの健康 命に関わる災害時の口腔ケア. 毎日新聞医療プレミア編集部, 2020.11
10. 中久木康一, 柳本喜恵子. 被災した時、何ができますか? 「準備しておけばよかった！」と後悔しないために. DH-Style, 2020.12
11. 中久木康一、熊谷章子、原田奈穂子. 災害時の歯科の役割を再考する. 新聞 QUINT, 2020.12

**[総説]**

1. 依田哲也. 開業医のための顎関節症治療アップデート講座 3 病態別の基本的な治療法 歯界展望. 2020.03; 135(3); 494-501
2. 佐藤毅, 依田哲也. 咀嚼筋腱・腱膜過形成症の病態解明とトランスレーショナルリサーチへの展望 日本顎関節学会雑誌. 2020.04; 32(1); 18-22
3. 儀武啓幸. 顎関節の滑膜軟骨腫症への対応 日本顎関節学会雑誌. 2020.04; 32(1); 3-8
4. 佐々木好幸. 令和元年度地域保健委員会報告書「災害時対応について」 東京医科歯科大学歯科同窓会会報. 2020.11; (215); 36-41

**[講演・口頭発表等]**

1. 黒原 一人, 友松 伸允, 中久木 康一, 新井 直也, 依田 哲也. Le Fort I 型骨切り術における異なる骨切り線による術後安定性の検討. 第 74 回日本口腔科学会総会学術集会 2020.04.16 新潟
2. 鳥飼勝行, 開田恵理子, 長岡亮介, 木島毅. 下鼻甲介骨移植による顎裂部再建. 第 44 回日本口蓋裂学会総会・学術集会 2020.06 愛知
3. 狩野桜子, 東堀紀尚, 小倉健司, 門田千穂, 松本 力, 高原楠旻, 依田哲也, 森山啓司. 骨格性下顎後退症患者に対し上顎骨およびオトガイ部への顎矯正手術を併用し外科的矯正治療を施行した 2 症例. 2020.06 新潟
4. 森田 圭一. シンポジウム 3 最終補綴を含めた口唇裂口蓋裂症例の治療 - 東京医科歯科大学歯学部での取り組み - 東京医科歯科大学歯学部附属病院 CLP 合同カンファレンスについて. 第 44 回 日本口蓋裂学会総会・学術集会 2020 年 6 月 4-5 日 2020.06.04 名古屋市 (紙面開催)
5. 馬場 優里, 小川 卓也, 上園 将慶, 壬生 美智子, 隅田 由香, 森田 圭一, 依田 哲也, 森山 啓司. 口唇口蓋裂における上顎骨延長前後の上咽頭気道の三次元的形態変化と言語機能に関する検討. 第 44 回 日本口蓋裂学会総会・学術集会 2020 年 6 月 4-5 日 2020.06.04 名古屋市 (紙面開催)
6. 門田 千穂, 小川 卓也, 森田 圭一, 依田 哲也, 森山 啓司. 上顎骨延長ならびに下顎後方移動術を適応した EEC 症候群の 1 例. 第 44 回 日本口蓋裂学会総会・学術集会 2020 年 6 月 4-5 日 2020.06.04 名古屋市 (紙面開催)
7. 星 礼子, 森田 圭一, 安西 絵梨, 原園 陽介, 高原 楠旻, 依田 哲也. 口唇口蓋裂患者の歯槽骨形成に対する歯肉骨膜形成術の有効性の検討. 第 44 回 日本口蓋裂学会総会・学術集会 2020 年 6 月 4-5 日 2020.06.04 名古屋市 (紙面開催)
8. 友松 伸允, 高原 楠旻, 中久木 康一, 木村 敦, 依田 哲也. Short lingual cut による両側下顎枝矢状分割術の下顎骨分割状態と後戻りに関する検討. 第 30 回日本顎変形症学会総会・学術集会 2020.06.24 新潟
9. 香月 佑子, 儀武 啓幸, 和気 創, 高原 楠旻, 佐藤 文明, 依田 哲也. 徒手の牽引療法により改善した前歯部開咬を伴う変形性顎関節症の 1 例. 日本顎関節学会雑誌 2020.07.01
10. 儀武 啓幸. 顎関節円板障害・変形性顎関節症に対する運動療法 術者の指示で患者が行う運動療法の考え方と手技. 日本顎関節学会雑誌 2020.07.01
11. 依田哲也. 日本顎関節学会の顎関節症診断基準 2019 顎関節円板障害・変形性顎関節症. 第 33 回日本顎関節学会 2020.07.04 京都 (WEB)
12. 岩下亜美, 雨河茂樹, 佐々木好幸, 鈴木瞳, 吉田直美. 某中規模病院における周術期患者の全身状況・生活習慣および口腔内状況の探索研究. 日本歯科衛生学会 第 15 回学術大会 2020.08 誌上開催
13. 儀武 啓幸. クレンチングに左右差はあるのか?. DENTAL DIAMOND 2020.09.01
14. 中久木康一. 災害歯科医学教育の目的と必要とされる内容, シンポジウム 1 どうする災害歯科医学教育! 命を守るための教科 = 災害歯科医学を進めるために. 第 39 回日本歯科医学教育学会 2020.09.25 Web
15. 高原楠旻, 木村 敦, 友松伸允, 中久木康一, 森田圭一, 依田哲也. High angle skeletal Class II 症例における術後の後戻りに関連する要因について. 2020.11 愛知
16. 依田哲也. 「唾液のはなし」ドライマウスから歯を守る. 第 27 回東久留米市歯と歯ぐきの市民健康フェスタ 2020.11.07 東久留米市



17. 倉沢泰浩、森田圭一、佐久間朋美、原園陽介、依田哲也. エナメル上皮腫再発に関する因子の臨床的検討. 第65回日本口腔外科学会総会・学術大会 2020.11.13 愛知
18. 兵頭克弥, 丸川恵理子, 寺内正彦, 杉山健太郎, 高橋幸伸, 原田浩之, 依田哲也. ハイドロキシアパタイト・コーゲン複合体を用いた上顎洞底挙上術に関する臨床的統計. 第65回日本口腔外科学会総会・学術総会 2020.11.13
19. 原園 陽介, 森田 圭一, 安西 絵梨, 外内 えり奈, 依田 哲也. p63 変異関連疾患に関する遺伝子変異情報の再マッピング. 第65回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会 2020年11月13 - 15日 2020.11.13 名古屋市 (Hybrid 開催)
20. 森田 圭一. ミニレクチャー 35 口腔外科医のためのゲノム研究入門2. 第65回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会 2020年11月13-15日 2020.11.13 名古屋市 (Hybrid 開催)
21. 倉沢 泰浩, 森田 圭一, 佐久間 朋美, 原園 陽介, 依田 哲也. エナメル上皮腫再発に関する因子の臨床的検討. 第65回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会 2020年11月13 - 15日 2020.11.13 名古屋市 (Hybrid 開催)
22. 依田哲也. 「顎関節症に関わる3つの分類、痛みの見地から 顎関節症の診断基準 2019. 第25回日本口腔顔面痛学会シンポジウム 2020.11.23
23. 中里桂一郎, 高原 楠旻, 坂本 啓, 山崎新太郎, 星 礼子, 木原 翼, 友松 伸允, 依田 哲也. 舌に生じた筋肉内血管腫の1例. 第210回日本口腔外科学会関東支部学術集会 2020.12.19
24. 和智宏太郎, 友松伸允, 和気創, 高原楠旻, 儀武啓幸, 依田哲也. 顎関節に炎症が波及した悪性外耳道炎の1例. 公益社団法人日本口腔外科学会第210回関東支部学術集会 2020.12.19 あうるすぽっと

#### [受賞]

1. 優秀ポスター発表賞, 原園 陽介: 第65回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会「p63 変異関連疾患に関する遺伝子変異情報の再マッピング」, 2020年11月

#### [その他業績]

1. 2020年01月  
中久木 康一: 大規模災害時における歯科保健医療体制～最も優先すべき支援とは～, 大田区災害医療部会 第二回大田区災害時医療特別講演会, 2020年1月11日(土)15:10～16:40, 新東京歯科衛生士学校(大森)
2. 2020年01月  
中久木 康一: 東日本大震災後の国の体制づくり 中長期的なエンドポイント, 兵庫県病院歯科医会震災25年企画 つなぐ災害時歯科保健医療体制 -阪神・淡路大震災を経験した兵庫から-, 2020年1月19日13時50分～14時50分, ラッセホール サンフラワー
3. 2020年01月  
中久木 康一: 避難所における個別評価からの計画と連携, 災害口腔医学研修会(沖縄)第2部, 令和元年度九地連研究事業「災害時歯科医療の連携体制の構築と支援ネットワークの拡大」, 2020年1月26日(日)13時30分～14時30分, 沖縄県歯科医師会館
4. 2020年01月  
中久木 康一: 被災して困る、お口の事, 第10回 武蔵村山歯科医師会主催 市民向け講演会, 2020年1月15日(土)14:10～15:20, 武蔵村山市民会館: さくらホール(小ホール)
5. 2020年01月  
佐々木 好幸: 統計の講習「No.101 データ解析の基本」
6. 2020年01月  
佐々木 好幸: 統計の講習「No.102 統計学的検定の使い分けと多重比較法」
7. 2020年01月  
中久木 康一: 大規模災害時における歯科保健医療体制 ～最も優先すべき支援とは～, 大田区災害医療部会(大田区健康政策部、蒲田歯科医師会、大森歯科医師会、東京都歯科技工士会、大田区歯科技工士会、東京都歯科衛生士会)第二回 大田区災害時医療特別講演会

8. 2020年01月  
中久木 康一：東日本大震災後の国の体制づくり ～中長期的なエンドポイント～，兵庫県病院歯科医会震災25年企画「つなぐ災害時歯科保健医療体制 -阪神・淡路大震災を経験した兵庫から-」
9. 2020年01月  
中久木 康一：被災して困る、お口の事，第10回 武蔵村山歯科医師会主催 市民向け講演会
10. 2020年02月  
中久木 康一：災害時の「食べる」BCPを考えよう！～「食べる」を守る多職種連携に向けて～，九州地区連合歯科医師会研究費事業「災害口腔医学研修会」，2020年2月2日（日）9:30～12:30，城彩苑 多目的交流室（熊本市）
11. 2020年02月  
中久木 康一：災害時の歯科保健支援演習（DHUG：Distaster Dental Hygiene Unei Game）をやってみよう！，令和元年度 ブロック別災害歯科保健歯科衛生士フォーラム（関東ブロック），2020年2月9日（日）9:45～11:45，アルカディア市ヶ谷
12. 2020年02月  
中久木 康一：災害時保健医療支援の目的と位置づけ～アセスメントの考え方、クラスターアプローチとコーディネーション，災害口腔医学研修会（熊本）講義，令和元年度 九地連研究事業「災害時歯科医療の連携体制の構築と支援ネットワークの拡大」，2020年2月16日（日）13時00分～13時20分，九州歯科大学
13. 2020年02月  
中久木 康一：災害時保健医療体制と、歯科における体制づくり～地域防災計画と他職種の災害対応、それと連携した歯科の対応，災害口腔医学研修会（熊本）講義，令和元年度 九地連研究事業「災害時歯科医療の連携体制の構築と支援ネットワークの拡大」，2020年2月16日（日）16時30分～16時50分，九州歯科大学
14. 2020年02月  
中久木 康一：災害時にも地域を守るために，榛原医師会 講演会，2020年2月19日（水）19:00～20:30，榛原医師会館3階講堂
15. 2020年02月  
中久木 康一：歯科保健活動と災害関連死について，被災県における歯科保健医療に係る対応について，愛媛県歯科医師会 災害研修会，2020年2月24日（月・祝）10:00～12:00，愛媛県歯科医師会館 4階大ホール
16. 2020年02月  
中久木 康一：災害時における県歯および郡市歯科医師会の歯科保健医療活動について ―具体的にどんな活動をすればいいのか―，被災県における歯科保健医療に係る対応について，愛媛県歯科医師会 災害研修会，2020年2月24日（月・祝）13:00～15:00，愛媛県歯科医師会館 4階大ホール
17. 2020年02月  
佐々木 好幸：統計の講習「No.103 臨床研究デザインにおける例数設計」
18. 2020年02月  
佐々木 好幸：統計の講習「No.104 探索的因子分析の基本」
19. 2020年02月  
佐々木 好幸：統計の講習「No.105 共分散構造分析の基礎」
20. 2020年02月  
佐々木 好幸：統計の講習「No.106 妥当性・信頼性のあるアンケートの設計」
21. 2020年02月  
佐々木 好幸：統計の講習「No.107 回帰分析の基本とテクニック」
22. 2020年02月  
佐々木 好幸：統計の講習「No.108 非ランダム割付の医療データの傾向スコアによる解析」
23. 2020年02月  
中久木 康一：災害時にも地域を守るために，榛原医師会 講演会
24. 2020年02月  
中久木 康一：被災県における歯科保健医療に係る対応について，愛媛県歯科医師会 災害研修会

25. 2020年08月  
中久木 康一：健康を保つための、お口の衛生管理！，新潟大学医学部災害医療教育研究センター 第4回 WEB セミナー，災害医療×感染症×「食べる」WEB 講演会
26. 2020年09月  
中久木 康一：自分たちが被災した時、地区歯科医師会としてどうすればいいのか？～被災の実例とともに考えよう～，一般社団法人松阪地区歯科医師会 災害マネジメント研修会
27. 2020年09月  
中久木 康一：被災後の生活において、健康を保つために必要な準備とは？，新潟大学医学部災害医療教育研究センター 第5回 WEB セミナー，災害医療×感染症×命の入口と出口 WEB 講演会「分散避難…自宅避難するために～健康を保つ・食べるを守る～」
28. 高原 楠旻：Le Fort I型骨切り術に対する骨接合材の選択，2020年10月  
OGS Webinar
29. 2020年10月  
中久木 康一：歯科領域における災害対応概論，災害歯科学，履修証明プログラム「災害マネジメント人材養成プログラム」，コンダクター型災害保健医療人材の養成プログラム
30. 2020年10月  
中久木 康一：災害歯科保健体制研修会 アドバンス研修会，厚生労働省 医療関係者研修費等補助金 災害医療チーム等養成支援事業「令和2年度災害歯科保健医療チーム養成支援事業」
31. 2020年11月  
中久木 康一：災害歯科保健体制研修会 東日本ブロック，厚生労働省 医療関係者研修費等補助金 災害医療チーム等養成支援事業「令和2年度災害歯科保健医療チーム養成支援事業」

#### [社会貢献活動]

1. 佐々木 好幸：医業経営実態調査アドバイザー，神奈川県歯科医師会，医療管理委員会，神奈川県歯科医師会館，2019年08月18日 - 2020年03月
2. 中久木 康一：災害時における歯科技工士の役割について，公益財団法人日本歯科技工士会，「日本歯技」，2020年01月06日
3. 佐々木 好幸：歯の酸蝕症について，中野区行政勤務歯科衛生士自主研修グループ，中野区行政勤務歯科衛生士自主研修グループ講演会，中野区鷺宮すこやか福祉センター，2020年02月09日
4. 丸川 恵理子：歯の移植に関して，アースヘルスケア株式会社，歯の教科書，2020年03月24日